

## 二位ノ浜海水浴場で離岸流を確認！

山口県二位ノ浜海水浴場で、波打ち際**4箇所**に海面着色剤（シーマーカー）を投入し、流れの様子を福岡航空基地の航空機により離岸流調査を行いました。今回調査した結果、**2箇所**で離岸流を確認しました。なお、当調査は鹿児島大学水産学部西教授の協力のもと行いました。

### <調査結果>

- ・6月17日に1回調査を行い、調査範囲の西側（測点④）で、**最大約0.44m/s、約130m沖**まで流れる離岸流を確認しました。（別表参照）
- ・目視による速報値では、到達距離が200m以上と発表しましたが、映像による解析の結果、発生状況は以下のとおりでした。

別表 海面着色剤投入箇所の流向、最大流速及び到達距離（到達時間）

※海面着色剤投入後約20分以内に観測された値

測点	①	②	③	④
離岸流発生の有無	有	無	無	有
流向	北西方向	発生なし	発生なし	東北東方向
最大流速	約0.42m/s			約0.44m/s
到達距離 (到達時間)	約140m (15分間)			約130m (10分間)

### <調査方法>

- ・海岸から海面着色剤を測点①から測点④までの4測点において同時に散布して、海面着色剤が漂流及び拡散する状況を陸上及び航空機からビデオカメラにより撮影するとともに、目視により確認しました。



図1 海面着色剤投入直後（11時8分）

（※図1から図6まで当庁航空機による画像）

<調査経過 1 >

凡例 離岸流：→ (黄色色矢符)、並岸流：- - -> (橙色破線矢符)



図2 海面着色剤投入3分後(11時11分)



図3 海面着色剤投入5分後(11時13分)

<調査経過 2 >

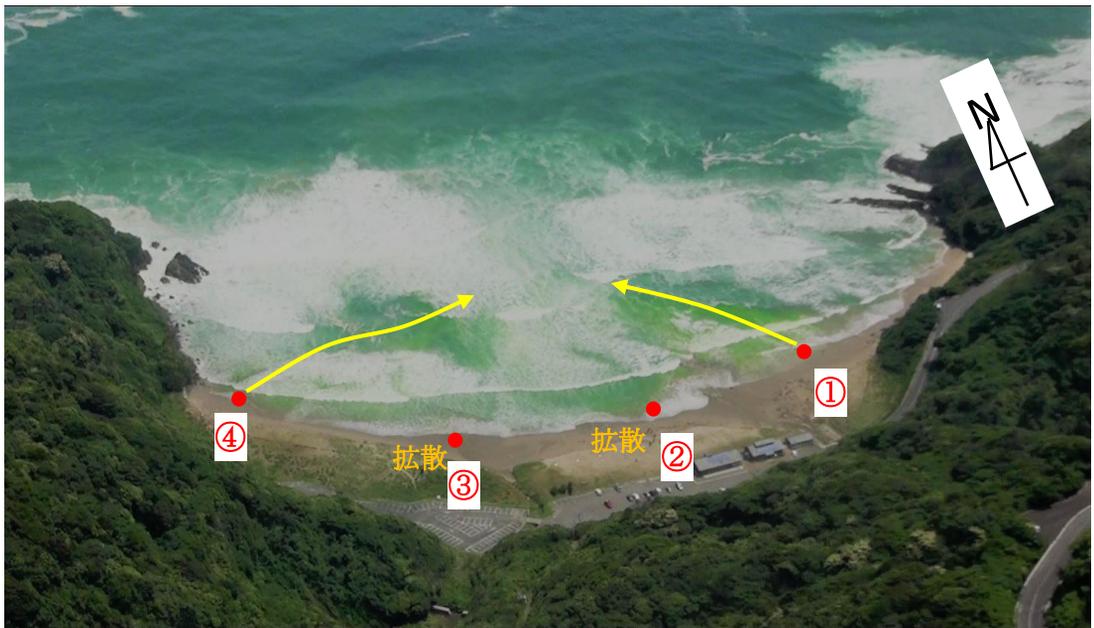


図4 海面着色剤投入 10 分後 (11 時 18 分)



図5 海面着色剤投入 15 分後 (11 時 23 分)

### <調査経過 3>



図 6 海面着色剤投入 20 分後（11 時 28 分）

#### <総評・まとめ>

本調査では、測点 4 箇所中、測点①及び測点④の 2 箇所において離岸流の発生を確認しました。測点①は東側の岩礁帯に沿って海水浴場中央から沖へと向かう離岸流を確認し、測点④は北西側の岩礁帯に沿って海水浴場中央から沖へと向かう離岸流を確認しました。両測点とも調査時間終了時にはシーマーカーが拡散しましたが、これらの離岸流はその後、海水浴場中央から沖に流れ出るものと思料されます。測点②及び測点③については顕著な流れが確認されませんでした。

海象状況及び気象状況は、波は高かったものの、外洋から海岸にかけて風は弱い状況でした。さらに強い風が吹くと、より顕著な離岸流が発生する可能性があると思料されます。

離岸流はこの海岸でも起きる可能性があり、岩場や浅瀬など、流れを遮るものの付近では離岸流は発生しやすく、風向きなどの気象、波の大きさなどの海象状況も影響します。

#### <鹿児島大学西教授のコメント>

離岸流が発生しているところでは、ゴミや浮いている砂が流れに乗って沖に流れていることが確認されました。また、海岸の両岬よりやや沖までの流れがドローンで確認できました。さらに、波が大きいときは流れが強いことも分かりました。